



少年少女スポーツ (ゲートボール)

会場地 　：　西脇市 (旧黒田庄町)

競技紹介

ゲートボールは、T字型のスティックでボールを打ち、3つのゲートを順次通過 (得点各1点) させた後、コート中央のゴールポールに当て (得点2点) 試合時間内のチーム全員の総得点を競う競技です。

クロッカーという球技をヒントに北海道生まれ、「健康・体力づくり運動推進全国大会」で紹介されたことなどがきっかけとなり、この後、高齢者のスポーツとして急速に全国に広まりました。現在では、小・中学校でも実施される機会が増え、高齢者以外の層にも広がっています。また、国内はもとより、海外にも普及しています。

少年少女スポーツのゲートボールでは、チーム内で作戦を立て、お互いに協力し合ってプレーすることによって、コミュニケーション能力や協調性を高めるとともに、スポーツの楽しさ、素晴らしさを味わうことが出来るようにしたいと考えています。

競技方法



1チームは5人編成で、試合時間は30分です。

先攻チームは自分と同じ番号のついた赤ボール (奇数番号) を、後攻チームも同じ番号のついた白ボール (偶数番号) を1番の選手から順番に打っていきます。スタートエリアから第1ゲートに向かって打ち、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートを通過させ、最後にゴールポールに当てるとその選手は上がりになります。先に5人全員が上がったチームが勝ちとなります。30分間で勝負が決しない場合は、それぞれのチームの総得点数で勝敗を決めます。

得点は、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートの通過に成功するとそれぞれ1点ずつ、合わせて3点、そしてゴールポールに当てると2点の合計5点が選手1人の最高得点になります。従ってチーム5人全員が上がると25点となり、これをパーフェクトゲームといいます。

競技場の概要

【会 場】

西脇市黒田庄ふれあいスタジアム運動公園

西脇市黒田庄町内門柳川沿いの緑豊かな環境の中に新しく整備した総合運動公園をメイン会場（6コート）とし、町ゲートボール場（3コート）及び住民運動場をサブ会場として行います。

特にメイン会場となる総合運動公園は、近くにオートキャンプ場として全国にも有名な日時計の丘公園や、ガーデニングの実習施設としてのフォルクスガーデンがあり、参加者の心を和ませる環境に恵まれています。



ゲートボール大会風景

